

地理空間情報を使った、地域版SDGs達成に向けた生態系サービス評価のシナリオづくりと普及啓発 —Evidence1に基づいた計画、評価、モニタリングの主流化のために—

活動地域  北海道



講習会開催時の様子

課題

生物多様性や生態系サービスの保全のための、「意識決定が地域単位で行われるための資源」、「データや情報を利用するためのツール」、「人材」が不足していること。

目標

生物多様性や生態系サービスの保全のための「人材育成とネットワーク形成」、「データや情報を利用するためのツール」、「情報資源」が充実すること。



今後の展望

来年度は道東地域及び全国数か所で開催を実施する。開催箇所ごとにハブとなる組織と密に連絡を取り各講習会に適したカリキュラムと教材を提供するとともに、全国で使用可能な教材を作成しWebサイトで公開する。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

今年度は釧路で初心者向けのGIS講習会を開催した。開催まで参加予定組織と密にコミュニケーションをとり、組織の用途に合わせた教材を作成するとともに情報管理に関する状況を確認した。講習会では“一般的な操作方法”のみではなく“いかに保全活動に有効か”という考え方に重点を置き、各組織内での活用をイメージできるカリキュラムを実施した。今回は行政・環境保全団体・教育機関所属など幅広い分野の方にご参加いただき、道東地域の環境課題についてGISの視点から議論する時間も設け、地域の組織ネットワークも構築できた。



選択式実習で作成したマップについて考察を発表する参加者

講習会参加者数 19人

シナリオ案 6個

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 52%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

様々なセクターが集まるのが利点の講習会であるが、各組織での使い方は異なる中で、それぞれの活動に寄り添った内容を留意すること。

■ 工夫した点

講習会2日目の実習内容を選択式にすることで、個人及び組織ごとの活動内容により近いテーマで体験操作ができるようにした。

〒060-0809
北海道札幌市北区北9条西
4丁目5-2
電話：011-726-3072
E-mail：kudo@env.gr.jp
HP：http://www.env.gr.jp/

